



皮膚科・アレルギー科

松戸ひなげし皮膚科

<http://www.hinageshi.jp>

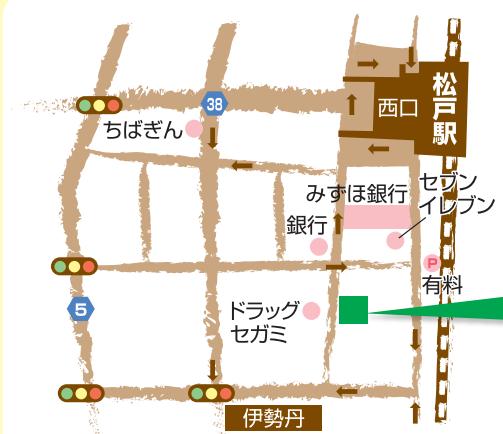
● 診療時間 ●	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30-12:30	○	○	○	休 診	○	○	休 診
14:30-18:30	○	○	○		○	/	休 診

◎ 月曜午後のみ19:30まで診療

* 受付は診療終了時間の30分前までです

お問い合わせ

TEL 047-711-7476



松戸ひなげし皮膚科

松戸駅西口徒歩2分

1F 松戸駅西口郵便局
〒271-0092
松戸市松戸1305-25 小畠ビル4F

ひなげし通信 No.2



ひなげし通信

2号 不定期発行

お題「いぼ」

院長 谷野 千鶴子

今日は「いぼ」のお話をしようと思います。

「先生、いぼができました！」と、皆さんが私のところへいらっしゃった時、必ずしもそうでないことが多いあるからです。

「いぼ」とは、皮膚の一部が小さく盛り上がっているものを、総じて言っています。なので、皮膚から盛り上がっているできものを、皆さん大概「いぼ」とおっしゃいますね。

けれども、皮膚科医が最も一般的に診る「いぼ」と呼ぶものは、手や足などにウイルスが感染してできる「いぼ」、尋常性疣赘じんじょうせいわいゆうぜいです。よく、同じところに繰り返し力がかかってできてしまう「魚の目」、鶏眼けいけんと間違われます。「魚の目」と違って「いぼ」はうつってしまうので、早めに気づいて治療することが大事です。

お子さんを中心に、プールなどで夏場に問題になる「みずいぼ」、伝染性軟属腫でんせんせいなんぞくしゅは、原因は同じウイルスでもその種類は異なります。また「みずいぼ」といわれるよう、水を含んだようにみえる透明なものです。夏のシーズン前には、皮膚の露出や水に入る機会が増え感染が広がることを憂慮して、治療をうながすことがあります。

首によくできるものは、皮膚が伸びてひよいと飛び出たもので、スキンタッグという小さなおできであることが多いです。

顔にしみが盛り上がってできるものは、脂漏性角化症しううせいかくかしょうあるいは老人性疣赘ろうじんせいわいゆうぜいといい、年齢とともに増えてくることが多いです。

その中に、悪性腫瘍あくせいしゅりょうがまぎれています。前回にもお話ししましたが、皮膚は身体の全身をおおう「臓器のひとつ」と考えられていますので、判断はきちんとおこなうことが大切です。

気になる「いぼ」を見つけたら、まずはお気軽に診察にいらしてみてください。

そして、お顔に症状がある場合には、皮膚全体をくまなく診せていただきたいので、日焼け止めなども含めてお化粧をしないでご来院くださいね。